

内容評価細目の第三者評価結果 【保育所版】

A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 保育課程の編成		
1	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a
<コメント> 理念に沿った保育課程と年齢別保育年間計画を策定し方針を明文化している。職員はそれぞれの専門職が協力し養護と教育を行い子どもの成長を見守っている。特色ある保育として地域の世代間交流に力を入れ、老人デイケアセンターを毎月訪問、出前保育で子育て中のお母さんの相談、園を開放して卒園児に遊びに来てもらうなど多様な取組を行っている。		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
2	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
<コメント> 子どもたちがのびのびと過ごせる様に園内外の環境整備に配慮し、大型遊具は園長・主任が管理・点検している。保育室は職員が当番で管理し安全に配慮し、責任の所在を明らかにしている。		
3	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a
<コメント> 保育課程に沿いながらも一人ひとりの生育の違いに配慮し、大切な命を預かっているということを意識した保育を展開している。また月末に全職員が「受容度チェック表」を用い、子どもへの対応や言葉遣いなど不適切なことがなかったか、3段階の評価を行い質向上に繋いでいる。		
4	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	a
<コメント> 当園は基本的な生活習慣を大事にした保育に力を入れており、年齢に応じて昼寝時にはパジャマに着替えただんで籠に入れる、食事のときのマナー・箸の使い方など保護者と連携しながら保育にあたっている。また子どもたちは雑巾がけをして清潔にするとともに、それらの行動が体幹を鍛えることに繋がり身体的に良い結果が生まれている。		
5	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a
<コメント> 子どもたちは遊びを通していろいろなルールを学び、保育目標にある健康でのびのびと自主性のある子どもに育つよう取り組んでいる。地域における異年齢児や高齢者との交流では元気と笑顔を届けて喜ばれ、子どもたち自身もいろいろな気づきを得て成長していることがうかがえる。		
6	A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<コメント> 乳児保育については体調が日々ちがうので決まった職員が保育を担当し、保護者の安心に繋がるよう成長を支えている。また連絡帳に毎日のできごとを記帳し連絡をしている。		
7	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<コメント> 3歳未満児(1・2歳児)については自我が芽生えてくる年齢で、一人遊びから少しずつ仲の良い子と遊ぶなどの行動がみられる。言葉より行動が先でしてしまうので保育士はケガなどないように見守り、保育に取り組んでいる。		
8	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<コメント> 3歳以上児については集団行動が多くなり、いろいろなルールをまもり、体力も知力もでてきて好奇心旺盛で言葉数も多く、表現活動も活発で元気に過ごしている様子が見られる。職員は一人ひとりの個性を大事にし、様々な経験を多く持ち成長できるよう取り組んでいる。		
9	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<コメント> 障がいのある子どもは少ないが、園内研修の中で専門の先生から指導を受けて間違いのないように、また親と相談し集団に無理なくついて行けるような保育に努めている。1・2歳児を対象に、ハイハイやアヒル歩きを運動遊びとして実施してきた結果、体幹が鍛えられきちんと座れるようになって効果が表れている。		
10	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<コメント> 夕方になると子どもたちが疲れてくるので、自宅での夕食に影響のない程度の手作りおやつを提供している。3・4歳児は同部屋、2歳児は単独部屋、0・1歳児部屋に分けて、マットを敷いて休ませたり、自由に遊ばせたりしている。保護者の仕事上の都合で迎えが遅れる場合は、延長保育の対応も行っている。		
11	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a
<コメント> 公開保育を行っており、就学に向けては小学校の先生の参加を得て年長組の園児に話をしてもらい、また職員とは意見・情報交換も行っている。学区内の小学1・2年生との異年齢児交流を行い小学校と連携を図っている。		

内容評価細目の第三者評価結果 【保育所版】

A-1-1- (3) 健康管理			
12	A-1-1- (3)- ①	子どもの健康管理を適切に行っている。	a
<コメント> 健康管理は保健感染症マニュアルに基づき日々の健康状態について、看護師が各クラスをまわり欠席状況から病気確認を行い、担任と連携して早期発見に努め検査診療に導いている。また風邪等予防のため一人ひとりの数日間の様子をノートに記録して、集団感染防止にも努めている。			
13	A-1-1- (3)- ②	健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	a
<コメント> 健康診断や歯科健診の結果は、看護師から全職員への周知と保健指導を行っている。園医が食生活を含めた心身の健康指導、また保護者も見学参加して歯科衛生士から歯磨き時のブラッシング方法等の指導を受け、園児が関心を持てるように取り組んでいる。			
14	A-1-1- (3)- ③	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a
<コメント> アレルギー疾患・慢性疾患等はアレルギー対応マニュアルに基づいており、また園医の指導のもとでアナフィラキシーショックについての講習や緊急対処方法について受講し、職員共通の理解を図っている。アレルギー食物対応の食事の違いを、子どもたちや保護者にも伝えて理解を得ている。			
A-1-1- (4) 食事			
15	A-1-1- (4)- ①	食事を楽しむことができるよう工夫している。	a
<コメント> 食育の年間計画を作成し、地元・県内・国内産の新鮮で安全確認がとれた食材を毎日指定業者から仕入れ、完全給食を実施している。毎月食事だよりと献立表を保護者に配布し毎日のメニューが分かる内容となっており、組別保護者会では試食会を行い安心に繋げている。またその日の給食(幼児食4歳児の量と離乳食とおやつ)をサンプルケースに展示して、保護者や子どもたちが見て食事への関心や楽しみが増し、残食の少ない様子に表れている。			
16	A-1-1- (4)- ②	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a
<コメント> 赤いお皿(肉・魚・乳製品)、緑のお皿(野菜・果物)、黄色のお皿(ご飯・パン・麺類)、白のお皿(汁物)の4つの皿が揃えば、彩りや食事(栄養)バランスが整ってくることを子どもたちに伝えており、絵入りポスターで掲示している。食事時の会話を通して栄養について覚えてもらえるように取り組んでいる。			

A-2 子育て支援

			第三者評価結果
A-2-1 家庭との緊密な連携			
17	A-2-1- (1)- ①	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b
<コメント> 年2回の保育参観・個人面談・組別保護者会等で保護者と関わる機会を作り、連絡帳では毎日のように園と家庭との連携を図っている。一部の保護者から送迎時に子どもの様子を直接聞きたいとの要望が見られるので配慮を期待したい。			
A-2-2 保護者等の支援			
18	A-2-2- (2)- ①	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a
<コメント> 保護者のニーズに応じて一時・早朝・居残り・延長保育を実施しており、仕事の関係等で急な延長にはいつでも対応できる体制をとっている。			
19	A-2-2- (2)- ②	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a
<コメント> 子どもの様子でちょっとした変化も見逃さないようにし、昼寝のときのパジャマ着替えやおむつ交換時に職員は注意を払って観察し、異常を発見した場合は届出などマニュアルに沿った対応をしている。			

A-3 保育の質の向上

			第三者評価結果
A-3-1 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)			
20	A-3-1- (1)- ①	保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a
<コメント> 第三者評価は今回で4回目になり、園全体として保育の改善や向上を図る取組を実施し、自己評価には全職員が関わり振り返りが行われている。職員一人ひとりの自己目標は毎年前期・後期に提出が義務づけられ、園長との面談で確認されている。			